

みずほCustomer Desk Report 2023/12/13号(As of 2023/12/12)

金融市場部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値 GBP/USD	145.83 AUD/USD
TKY 9:00AM	146.05	1.0765	157.28	1.2563	0.6565
SYD-NY High	146.18	1.0830	157.28	1.2615	0.6612
SYD-NY Low	144.75	1.0762	156.56	1.2516	0.6540
NY 5:00 PM	145.47	1.0795	157.06	1.2563	0.6559

	終値	(前日比)		終値	(前日比)
NY DOW	36,577.94	173.01	日本2年債	0.0600%	▲0.0300%
NASDAQ	14,533.40	100.91	日本10年債	0.7300%	▲0.0400%
S&P	4,643.70	21.26	米国2年債	4.7340%	0.0249%
日経平均	32,843.70	51.90	米国5年債	4.2259%	▲0.0194%
TOPIX	2,353.16	▲ 5.39	米国10年債	4.2092%	▲0.0270%
シカゴ日経先物	32,930.00	▲ 185.00	独10年債	2.2280%	▲0.0340%
ロンドンFT	7,542.77	▲ 2.12	英10年債	3.9645%	▲0.1095%
DAX	16,791.74	▲ 2.69	豪10年債	4.3390%	0.0000%
ハンセン指数	16,374.50	173.01	USDJPY 1M Vol	10.53%	0.13%
上海総合	3,003.44	12.00	USDJPY 3M Vol	10.15%	0.38%
NY金	1,993.20	▲ 0.50	USDJPY 6M Vol	9.68%	0.22%
WTI	68.61	▲ 2.71	USDJPY 1M 25RR	▲1.73%	Yen Call Over
CRB指数	258.09	▲ 3.68	EURJPY 3M Vol	10.09%	0.24%
ドルインデックス	103.87	▲ 0.23	EURJPY 6M Vol	9.85%	0.21%

東京	東京時間のドル円は146.05レベルでオープン。程なくして東京時間の高値となる146.12をつけるも、仲値にかけ売り優勢の展開となり145円台後半まで下落。その後も米金利の低下を背景にドル円は145.33まで値を切り下げ、結局145.41レベルで海外時間に渡った。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、145.41レベルでオープン。米指標を控え欧州株は様子見姿勢だったものの米長期金利が下落。それにつれてドルが軟調だった。145.25レベルでNYに渡った。ユーロドルは、1.0769レベルでオープン。独12月ZEW期待指数が予想を上回る上昇となる中1.0807まで堅調に推移。1.0798レベルでNYに渡った。
ニューヨーク	海外市場のドル円は146円台前半でスタート。日本株安や、米金利低下の展開が重しとなり、ドル円は始終軟調な値動きが続き、145.25レベルでNYオープン。朝方に発表された注目の米11月CPI(前月比)が予想を上回り、米インフレが予想以上に減速していない思惑から、発表直後は売り買いが交錯し、一時144.75まで下落するも、その後145.73まで反発する等神経質な値動きが続く。売り買い一巡後は、米金利が上昇する動きに支えられ、145.80付近での高値圏での推移が続く。午後は上昇していた米金利低下に売りで反応し、145.60近辺まで小幅反落。その後は明日にFOMC結果発表を控えている事から、積極的な取引が手控えられ、終盤に小幅続落し、145.47レベルでクローズ。一方、海外市場のユーロドルは1.07台半ばでスタート。米金利低下を背景に買い優勢となり、その後発表された独12月ZEW景気期待指数が予想を上回った内容を受けて買いが一段と強まり、1.0798レベルでNYオープン。朝方は先述の米11月CPIの結果を受け、1.0830まで上昇する場面も見られたが、その後市場はドル買い地合に転じた事を受け、1.0768まで反落。売り一巡後は徐々に戻し、1.0790付近まで回復。午後も高値圏の1.08台手前での底堅い推移が続き、その後1.0795レベルでクローズ。

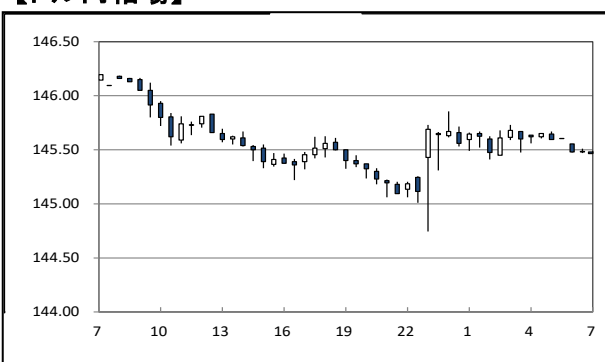
【昨日の指標等】

Date	Time	Event			結果	予想
12月12日	08:30	豪	ウェストハック消費者信頼感指数	12月	82.1	－
	16:00	英	週平均賃金(除賞与/3ヵ月/前年比)	10月	7.3%	7.4%
	19:00	独	ZEW景気指数 期待/現状	12月	12.8/－77.1	9.5/－76
	19:00	欧	ZEW景気期待指数	12月	23	－
	22:30	米	CPI 前月比/前年比	11月	0.1%/3.1%	0%/3.1%

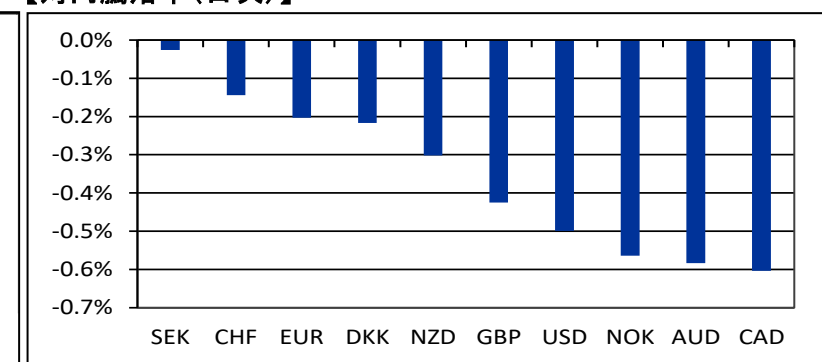
【本日の予定】

Date	Time		Event		予想	前回
12月13日	08:50	日	日銀短観	第4Q	-	-
	16:00	英	鉱工業生産(前年比)	10月	1.1%	1.5%
	16:00	英	製造業生産(前年比)	10月	1.9%	3.0%
	19:00	欧	鉱工業生産(季調済/前月比)	10月	-0.3%	-1.1%
	22:30	米	PPI 前月比/前年比	11月	0%/1%	-0.5%/1.3%
12月14日	00:00	米	EIA週間原油在庫	-	-	-
	04:00	米	FOMC政策金利(上限)	13-Dec	5.50%	5.50%
	04:00	米	FOMC政策金利(下限)	13-Dec	5.25%	5.25%
	04:30	米	パウエル議長会見	-	-	-
	-	-	OPEC月報公表	-	-	-

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	154.00-157.00	1.0600-1.0900	156.00-158.00

【マーケットインプレッション】

昨日の海外市場でのドル/円は145円台での推移が中心となった。欧州時間は東京時間の流れを引き継ぎ145円台前半にて小動きだった。しかし、NY時間に発表された米11月・CPIの結果が概ね予想通りの結果となると、一時ドル売りが強まり144円台後半まで下落。一服後は、前月比が予想比上振れの結果となったことなどをを受けて再び145円台後半まで約1円ほど回復し、終盤は145円半ば付近まで小緩んだ。

本日もFOMCまではドル/円は145円台での取引を予想。ただし、今晚は米FOMCの政策金利、スタッフ見通しの発表、パウエルFRB議長の会見が予定されており、来年開始が予想されている利上げ開始時期へのヒント等が示されればドル売りが強まるのではないかと。一方で、ブラックアウト期間前のFRB高官らの発言ではタカ派姿勢が維持されており、市場の利下げ期待に水を差す結果となれば、ドルが反転上昇する可能性もあるだろう。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当: 尾身・田川